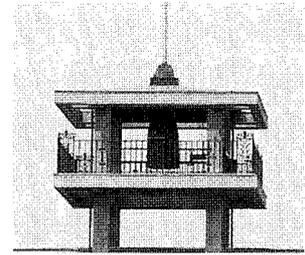


# かの 葛野の鐘

図書館報 第9号



京都光華女子大学図書館  
2002.4発行  
(<http://www.koka.ac.jp/toshokan/>)

(題字は元暦校本萬葉集より集字)



## 図書館のシステムが新しくなりました

(平成13年9月より)

OPACの画面が変わりました。  
他館の情報も検索できます。  
1階閲覧室の端末が10台に増えました。



## ネット上の読者

図書館長 可 藤 豊 文

本には二つの楽しみがある。一つはもちろん、私が希望の本を手にする時であり、もう一つは私の本がどう読まれているかを知る時である。この頃、少しではあるが、私は後者の楽しみを知り始めている。というのも、昨年5月、私は二冊目となる『瞑想の心理学』を上梓した。前作のこともあり、読者からどのような反応があるかを心待ちにしていると、意外にも早く、5月20日付けで、インターネット上に「急告『神秘主義の人間学』の著者・可藤豊文氏の新刊が出ました...」という文字が踊っていた。彼らは私の前作も読んでいて、ネット上で情報の交換をしているのだ。私はそのコメントを読み、要を得た指摘にいたく納得すると共に、もとより多くはないであろうが、私の新刊が出るのを待っていて下さる人たちがいることを知った。また「...著者の熱気や真摯な語り口が伝わり、自分自身に悟りへの道を強く呼びかけられたような読後感が残る」というように、私が意図した通りに読んで頂いていることを嬉しく思う。

そして、物を書くとは、読者にとって「読むこと自体が瞑想になる」(これもネット上の言葉である)ようなものでなければと常々考えている私に、彼らのコメントは次なる私への励ましともなるようだ。事実、「次はどのようなものを出されるのですか」という、見知らぬ人からのメールに答えるべく、今年の4月に、私は三作目となる『自己認識への道』を出版した。禅とキリスト教を扱ったこの著作をもって、私はこの大学に着任した所期の目的は果たせたのではと思う一方で、私に残された時間がそう多くないことに気付く。しかし、これまでもそうであったように、順逆を問わず、今生における有縁・無縁、すべての人といずれ別れるのだという思いを常に心に銘記しつつ、私はもう一つの課題である、硬直した独善的(と私には思える)親鸞像に新たな一石を投じられないものと今、思いを巡らせている。(2001/11/10)

(生活環境学科 生活情報専攻・宗教学)



## 判例との出会いを求めて

短期大学部 生活環境学科 生活情報専攻 **高 森 哉 子**

法を学ぶ者は、判例に学べといわれる。判例とは先例拘束力のある裁判所の判決のことである。その理由は、先ず第一に、条文の文言は大なり小なり抽象的なので、具体的事件に対する裁判所の具体的判断である判例を学ぶことによって、我々は初めて法の具体的内容を知ることができるからである。第二に、法的安定性の要請から、裁判所は実質が同じ事件に対しては、同じ判断を下さなければならないので、判例を学ぶことによって、将来の裁判が予見可能となる。その意味で、判例は国民全体の財産であるといつてよい。

ところで、わが国は諸外国に比較しても判例研究の盛んな国であり、判例集の種類も多いが、判例集の略称さえ判れば、目指す判例を図書館で見つけることは、それほど難しいことではない。しかし、イギリスの判

例は一筋縄ではいかない。例えば、1220年から1865年の間に、公にされた各種私的判例集に登載されていた判例は、English Reports, Full Reprint 全176巻の中に完全な形で集成されているが、原判例集がこのシリーズのどこに入っているかは、別の冊子で調べなければならないのである。従って、インターネットで蔵書検索が可能になった現在でも、自分が書庫に入って探さざるをえない。それだけに目指す判例に出会えた喜びも、また大きい。

私が本学に勤めるようになってから、「最高裁判所判例集」を図書館に、「判例時報」を共同研究室にいただいている。私の講義を受講して、法を学ぶ楽しさに出会った教え子たちが、次は判例との出会いを求めて、図書館を訪れる事を願っている。（民法）



## libraryはliberalの語源的意味

文学部 英語英米文学科 **児 玉 一 宏**

「図書館」は英語では *library* ですが、語源的には木皮を意味するラテン語の *liber* から生まれた言葉です。樹木の皮に文字が書かれたことに起因するからでしょうか、*library* には「書かれたものが所蔵されている場所」という語源的意味があります。また、「心が広い、自由な」という意味の *liberal* という語も *library* とは語源的に同じであり、それは結局、「知的財産としての多種多様な思想や知識を保持している」という意味であると理解できます。

さて、皆さんは人間の知的財産そのものである図書館をどのように利用されているのでしょうか？私の場合、例えば論文を読んでいて、その中で引用されている参考文献を探しに図書館に足を運ぶことがよくあります。あの独特の静寂さの中で文献や資料を読み込むと、思わぬ発見があったりもします。また、資料集めという点でも、以前は図書カードをめくって本を探す作業が中心でしたが、最近は図書館の情報化が進み、図書検索は大変便利になりました。ネットワーク上の

ウェブサイトが増大し、館内の図書資料のみならず広域検索も可能となり、図書館は情報の中継基地のような存在となっています。

ところで、明確な目的を持って図書館を利用するのは有効な付き合い方ですが、書物との偶然の出会いを求めてふらっと図書館に足を向けるのもどことなく楽しいものです。例えば、インターネットで注文したり、書店で取り寄せるというやり方ではすぐに入手できない書物やすでに絶版になっているため入手不可能な書物に、ぱったり遭遇することもあります。何気無しに手にした書物に心を奪われたりもするでしょう。思わぬ発想が生まれたり、極端な場合には、自分の人生を変えてしまうような強力なインパクトを得ることもあるかもしれません。

最後に、皆さんが図書館との付き合いを通して、リベラルな自己を実現していかれることを願っております。知的な出会いというプラス が期待できる図書館を多いに利用して下さい。（英語学・認知言語学）

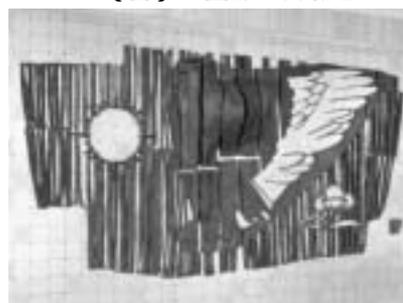
## ✧ Topics ✧

本学所蔵の資料が思文閣美術館「谷崎潤一郎と京都」2001.5.19(土)～6.17(日)に出展されました。

### 資料名

- 盲目物語(昭和7年2月 中央公論社)
- 春琴抄 (昭和8年12月 創元社)
- 青春物語(昭和8年7月 中央公論社)
- 谷崎潤一郎書簡 青山虎之助宛  
(昭和21年推定7月2日付)

1階閲覧室カウンター横壁画の壁彫が高岡市美術館「須賀松園三代 高岡金工の技と美」2001.9.14(金)～10.21(日)の図録に掲載されました。



この作品は鷹、日輪、花をモチーフにした巨大な鋳物で作者は無形文化財保持者の二代 須賀松園氏 (1898-1979)

私の薦めるこの一冊



『君について行こう』 向井万起男著（講談社）

短期大学部 生活環境学科 生活デザイン専攻 平田陽子

著者は、日本初の女性宇宙飛行士向井千秋さんの夫であり、慶応病院勤務の医師である。著者近影を見ると、おかつぱ頭に髭を蓄えたちょっと変なおじさんである。千秋さんとの出会い、宇宙飛行士選抜試験合格から結婚、そしてスペースシャトルに搭乗するまでの訓練風景などが真面目に記録されているのであるが、「凜々しい女房」と「清々しい夫」との面白い夫婦の話にもなっている不思議な本である。

自らも宇宙オタクという著者が知りたがったのであろうか、NASAの内情や訓練の様子、宇宙飛行士の日常など、宇宙飛行士本人でない知り得ないような事柄もかなり詳しく記録されている。特に打ち上げを間近に控え、本番と同じスケジュールを、分刻みで千秋

さんがこなしていく訓練風景は、迫力がある。打ち上げを成功させるため、タイムリミットまで最善を尽くす、それしかないのだということがよくわかる。人間が宇宙に行くことは大変なことなのだ改めて思い知らされる。

千秋さんが宇宙飛行士に選ばれてから、実際に宇宙に行くまでに9年。その間にチャレンジャー機の事故があり、宇宙飛行が延期されるシーンもあるが、とにかく宇宙へいきたい、そのためには努力を惜しまない千秋さんの前向きな考え方には元気づけられる。

搭乗してからのことは続編「女房が宇宙を飛んだ」（講談社）に詳しい。宇宙での科学実験のこと、地上との交信、帰還後のことなども興味深い。（住居学）

講談社+ 文庫 2階閲覧室



『阿片戦争』 陳舜臣著（集英社）（講談社文庫）

文学部 澤井律之

中国の歴史・文化全般について知識を深めたいむきには、陳舜臣の作品をお薦めしたい。この11月『陳舜臣中国ライブラリー』全30巻（集英社）の刊行が終了した。ざっと代表作をながめてみると、『阿片戦争』『太平天国』『江は流れず（小説日清戦争）』は中国の近代史を描いた歴史小説、『十八史略』『秘本三国志』『諸葛孔明』は古代を、『チンギス・ハーン一族』『耶律楚材』はモンゴルを、『琉球の風』は明王朝を背景に琉球を、それぞれ題材にした歴史小説である。『紙の道』『新西遊記』『イスタンブール』『茶事遍路』は壮大な歴史紀行、最新作『桃源郷』は、イスラム世界にまで分け入っている。近代から古代にさかのぼり、地域も東は日本、琉球、西はモンゴルからトルコまで、スケールが非常に大きい。陳氏には、なお『中国の歴

史』（講談社）もある。

これだけ著作が多いと中身が粗雑なのではないかと疑いたくなるが、陳氏の執筆姿勢は良心的で、たとえ小説といえども豊富な資料と該博な知識の裏づけがあり、いずれも読んでためになり、損はしない。まず、『阿片戦争』を読んでみるのがよい。1840年清朝の阿片輸入禁止令に対してイギリスが仕掛けたこの戦争に清朝は敗れ、数々の不平等条約を締結させられ、中国の領土は半植民地化してゆく。本書は、この阿片戦争とその時代を、廈門の豪商連維材という架空の人物を軸に、林則徐、詩人龔自珍等実在の人物を交え、100人以上の登場人物を配してダイナミックに描いている。中国近代のトラウマを理解するための好個の一書である。（中国近現代文学）

講談社文庫 2階閲覧室

数字で見る図書館の動き

開館状況

年度	開館日	開館日数	入館者	貸出冊数	貸出人数
11	11.4. 9~12.3.18	243	71,403	13,878	7,715
12	12.4.11~13.3.19	240	68,049	13,210	7,052
13	13.4.10~14.3.19	242	70,470	12,304	6,334

年間受入冊数（平成13年度）

	和書	洋書	消耗図書	計
購入	5,117	862	1,100	7,079
その他	427	155		582
計	5,544	1,017	1,100	7,661

蔵書冊数（平成14年3月現在）

	和書	洋書	計
図書	約141,000冊	約25,000冊	約166,000冊

相互利用件数

年度	複写依頼	複写受付	閲覧依頼	閲覧受付
11	163	33	72	5
12	132	34	70	31
13	129	56	42	26

レファレンス件数（カウンター受付）

年度	学内調査のみ	学外への依頼	学外からの依頼
11	267	136	23
12	167	179	44
13	131	90	87



## 図書館と私

大学院 文学研究科  
日本語日本文学専攻

平成11年度修了 **ひさ 久** **おか 岡** **み 明** **ほ 穂**



大学入学時から数えて光華の図書館を利用するのは、今年で9年目になります。修了後も進学して勉強を続けているので、私にとって光華の図書館は、ほやほやの1年生だった自分が様々なことを学び、研究者の入り口に立つまでになった成長過程がたどれる大切な場所です。振り返って、一番大切だったことを在学生のみなさんに伝えたいと思います。

図書館の利用方法といえば、今必要な文献を探して利用することを思い浮かべると思います。けれども、研究に有用なひらめきや直感は、突然浮かぶものではなく、課題がない時にも様々な情報を吸収する寄り道

の積み重ねによって培われていると思います。

また、勉強のためだけではなく、本を読むということは、頭脳や心に栄養を蓄えることです。大切な時期にいろんな物の見方や考え方に触れたことが、目には見えないけれど、今の自分を支えてくれていると思います。

だから、学生時代は忙しくて、何でもできるだけ効率よく知りたいこととは思いますが、目的がない時にも図書館に通って本に触れることをもっと身に付けて欲しいと思います。そしてそれが一番有意義で楽しい図書館の利用方法だと思います。

### ✦ 寄贈図書一覧 (平成13年3月～13年12月受入) ✦ 寄贈者の50音順 (敬称略)

#### 現教職員

- 有馬 道子  
パースの思想 記号論と認知言語学
- 飯沼 万里子  
コリアン世界の旅 他
- 太田 清史  
裏千家学園公開講座PELシリーズ 香と茶の湯
- 奥野 陽子  
私家集全釈叢書28 式子内親王全釈
- 小野 修  
オーウェル 時代を超える精神
- 可藤 豊文  
自己認識への道 禅とキリスト教 他
- 加茂 映子  
看護に生かす臨床心理学 他
- 京都光華女子大学文学部教養・教職等研究室  
日本語を考える 他
- 京都光華女子大学文学部日本語日本文学科  
和泉選書126 日本文学と美術  
光華女子大学公開講座 他
- 真宗文化研究所  
生老病死の教育観 仏教と心理療法 他
- 山本 登朗  
冷泉家時の絵巻 他

#### 旧教職員・卒業生・その他学園関係者

- 小田 良弼  
盲目物語 他
- 加藤 実  
タンカの世界 チベット仏教入門
- 坂本 弘  
明治宗教思潮の研究 宗教学事始
- 杉浦 緋紗  
二十世紀の洗礼者T.S.エリオット
- 田中 直子  
スラヴ諸民族語比較文法
- 波多野 茂男  
江戸小咄漫歩 他
- 久末 源治  
キーツ 二つの「ハイビリオン」その同一性と差異性 他
- 松田 豊子  
源氏物語への招待 他
- 山田 明子  
伊勢の神宮 他 (ビデオテープ)

図書の詳細はOPACで調べることができます。  
1階光華コーナーにも現旧教職員の寄贈図書があります。この他に、学外の方からも多数の図書をご寄贈いただきました。改めて御礼申し上げます。

### ✦ Information ✦

#### 【図書館利用証】

##### 《専任教職員》

図書館の利用証が教職員証と一本化されました。  
旧利用証 (KOKA CARD) をお持ちでない方は図書館で利用登録が必要です。

##### 《非常勤講師》

本年4月より新しい利用証に変わります。今まで利用していた方も写真をご用意のうえ、1階カウンターでお申し込みください。

#### 【新学科・コースの図書について】

人間関係学部人間健康学科開設に際して、多数の資料を購入しました。文学部国際文化観光コースについてもガイドブック以外に充実した資料が増えました。

### ✦ Schedule ✦

- 4月6日 (土) 図書館ガイダンス
- 4月10日 (水) 9時開館・返却期限日

**編集後記** ご寄稿くださいました皆様には心より御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。